

施策(小)評価シート

1 基本情報

年度	21	施策名(小)	スポーツ・レクリエーションの奨励	担当部課名
政策名	愛着と生きがいを育むまちづくり			教育委員会体育振興課
施策名(大)	スポーツ・レクリエーション			
施策名(中)	スポーツ・レクリエーション			
目的	<p>高齢者や障害者を含むすべての市民がスポーツ・レクリエーション活動に参加できる機会を提供し、自分にあつた形で生活の中にスポーツを取り入れる。</p> <p>(I) 生涯スポーツの振興 市民が生涯にわたってスポーツを楽しみ、健康・体力づくりに対する意識を高めるため、スポーツフェスティバルや各種のスポーツイベント・教室を開催する。さらに、体育協会が行う活動を支援し、競技スポーツの振興につとめる。</p> <p>(II) レクリエーションスポーツの振興 子どもや高齢者、及び障害をもつ人が気軽に楽しめるレクリエーションスポーツの振興のために普及講習会、大会等を開催し内容の充実をはかる。</p>			

2 評価指標

指標名	単位	実績値			目標
		19年度	20年度	21年度	22年度
ジュニアスポーツ普及振興事業数	事業	12	12	12	12
レクリエーションスポーツ開催数	回	25	24	23	23
市民体育大会等実施回数	回	24	23	26	26

3 施策に対する投入資源

投入資源	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
		事業費	千円	8,891	8,315
人件費	千円	16,033	15,531	15,165	15,354
合計	千円	24,924	23,846	23,269	23,524

4 施策評価

	評価判定	判定理由及び課題等
①目標の達成状況	○ ◎ 概ね順調に推移している ○ 一定程度進展している △ 少しは進展している ▲ 進展していない	スポーツレクリエーション活動に関心がある高齢者・障害をもつ人を含めた市民に活動の機会の場を提供することができた。
②社会情勢の反映・有効性	○ ◎ 有効に対応できている ○ 情報把握に努めている △ あまり対応できていない ▲ 有効に対応できていない	少子高齢化の中ですべての市民が体力維持と増進を図り、楽しめるように活動を奨励することができた。
③構成事務事業の妥当性	○ ◎ 効率的な構成である ○ 改善が必要な事業がある(1事業) △ 改善が必要な事業がある(複数) ▲ 構成自体に問題がある	高齢者のレクリエーションスポーツへの普及により参加者の増加など、構成事業は概ね妥当と判断できた。
④業務方法の効率性	○ ◎ 効率的に進めている ○ 改善等の余地が一部ある △ 改善等の余地が大きい ▲ 抜本的な改善等が必要である	各団体が各種大会等の準備、運営、事務処理等、自主的かつ効率的に実施できるように更なる連携が必要である。
⑤施策の総合評価	B A 継続 B 改善 C 再構築 D 見直し・縮減	レクリエーションスポーツにより市民にとって生きがいとなるように更に普及に努める。

5 施策の推進に向けた今後の対応

既存事務事業及び新規事業の方向性	各種教室・行事など、スポーツに関する情報を更に積極的に広報啓発することによりスポーツ奨励の強調を図り、既存事業を効果的に推進する。
------------------	---

6 構成事務事業

NO	事務事業名 事業開始年度	指標名 (単位)			投入資源(千円)		妥当性
					事業費	人件費	
		20年度 実績	21年度 実績	22年度 目標	20年度	20年度	
					21年度	21年度	
			22年度	22年度			
1	ジュニアスポーツ普及振興事業 -	ジュニアスポーツ普及振興事業 事業			1,460	5,177	4
					1,350	5,055	
		12	12	12	1,350	5,118	
2	レクリエーションスポーツ振興事業 -	あそぼうる、ベタンク、ターゲット パードゴルフ、グラウンドゴルフ等 事業			4,400	5,177	4
					4,260	5,055	
		24	23	23	4,260	5,118	
3	スポーツ活動推進事業 -	市民体育大会等実施数 事業			2,455	5,177	4
					2,494	5,055	
		23	26	26	2,560	5,118	
4					0	0	
					0	0	
					0	0	
5					0	0	
					0	0	
					0	0	
6					0	0	
					0	0	
					0	0	
7					0	0	
					0	0	
					0	0	
8					0	0	
					0	0	
					0	0	
9					0	0	
					0	0	
					0	0	
10					0	0	
					0	0	
					0	0	
11					0	0	
					0	0	
					0	0	
12					0	0	
					0	0	
					0	0	

第三者評価委員会意見

スポーツは、体力面だけでなく、成果指標として表しにくい社会性やコミュニケーション能力向上のためにも有効であるので、スポーツ振興を引き続き進めていただきたい。

また、社会体育的な要素は重要であり、大切にすると考えるが、財政状況がより一層厳しくなるなか、生活を営むうえで根幹をなす分野ではないので、今後はより一層、事業効果を明確に把握するなどの改善をおこないながら進めていただきたい。

事務事業におけるスポーツ活動推進事業の激励金については、全国大会などに出場することにより、市のPRやスポーツ振興に寄与している部分大きいですが、受益者が一部であるなど公平性の観点からも検証し、費用対効果を検討する必要がある。